

日本分析化学会九州支部

支 部 ニ ュ ー ス

第 39 号 2019 年 3 月

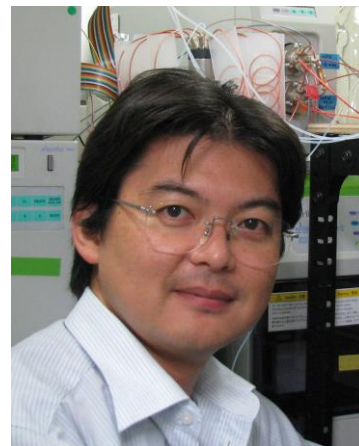
九州支部ウェブサイト
http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

2018 年度 日本分析化学会九州支部
〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町 1
佐賀大学理工学部 機能物質化学科

新旧支部長からのごあいさつ

支部長就任のご挨拶

日本分析化学会九州支部の皆さま、こんにちは。2019 年度支部長を務めさせていただく、九州大学薬学部の浜瀬健司です。前任の高椋利幸先生には2002 年に庶務幹事を浜瀬から引き継がせて頂きましたが、今回、支部長を高椋先生から引き継がせて頂きました。九州大学の薬学部が中心となって支部執行部を担当するのは、2001 年の財津 潔先生以来となります。その後、若手の会夏季セミナー世話人を1 回、若手の会春の講演会を2 回、分析化学講習会の HPLC 部門を15 年務めさせて頂き、正に九州支部に育てて頂きました。今回は支部長を仰せつかり、少しでも支部のお役にたてるよう、出来る限りのことをさせて頂きたいと思っております。副支部長としては九州大学工学部の加地範匡先生、坂元醸造の長野正信先生にご協力いただきます。また、庶務幹事は福岡大学薬学部の巴山 忠先生、会計幹事は九州大学薬学部の中園 学先生が務めます。これらの先生方とともに九州支部の運営に務めて参りますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



私は、学生時代から一貫して分離分析法の開発に携わり、博士論文のテーマである「D-アミノ酸分析」を今でもしつこく研究しております。D-アミノ酸はL-アミノ酸の鏡像異性体で我々が高校、大学時代には「人の体には存在しない」と学んできたアミノ酸です。しかし分析技術の進歩と共に、多くの高等動物からD体が発見され、新しい生理活性分子・バイオマーカーとして医療領域での貢献が強く期待されています。一方でD-アミノ酸は極めて微量成分ですので、生体試料中では（もちろん、ヒトの血液や尿などの臨床試料中も含めて）多種多様な内在成分による定量妨害を受けます。従ってその分析には極めて高い感度と選択性を兼備した分析法の開発・利用が不可欠です。薬学の分析を研究する人間として、分析法が無いために停滞していた研究分野を開拓できるのはこの上ない喜びであり、社会実装に向けて頑張っていきたいと思っております。

今年度は、分析化学会の全国行事として5月18日(土)、19日(日)に、九州支部担当で第59回分析化学討論会を北九州市小倉北区で開催致します。九州工業大学の竹中繁織実行委員長を中心として、盛会となりますよう準備を進めて参ります。皆様のお越しを心よりお待ちしております。定例の支部行事といたしましては、6月1日(土)に九州大学で第32回九州分析化学若手の会春の講演会が森 健先生のお世話で開催され、第37回会夏季セミナーが7月26日(金)、27日(土)に九州大学の田中 充先生のお世話で実施されます。また、8月初旬には佐賀大学 高椋 利幸先生を実行委員長として第60回分析化学講習会が催されます。10月18日(金)には、霧島市において幹事会、講演会、見学会そして懇親会を実施するべく長野正信副支部長を中心に準備に取りかかっています。

これらの支部活動の実施のためには、九州支部の皆さまには、多々ご協力いただくこともあると思います。どうぞ、1年間よろしくお願い申し上げます。

(九州大学 浜瀬健司)

支部長退任のご挨拶

日本分析化学会九州支部の皆さま、こんにちは。
2018 年度支部長を務めさせて頂きました佐賀大学理工学部 高椋利幸です。昨年 3 月 1 日から本年 2 月 28 日までの任期を、皆さまのご協力のお陰で無事務めることができました。この場をお借りして、皆さまに御礼申し上げます。

この 1 年間は、不慣れな私にとっては、大きな行事もなく、比較的フラットな道をマイペースで走らせて頂いたと思います。もちろん、2019 年 5 月 18 日(土)、19 日(日)に第 79 回分析化学討論会の北九州開催を控えておりますので、竹中繁織実行委員長(九大院工)に協力し、準備を進めて参りました。これから開催を迎えますので、引き続き九州支部の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

本年度は、まず、5 月 19 日(土)に巴山 忠先生(福岡大薬)のお世話で福岡大学中央図書館において第 31 回九州分析化学若手の会・春の講演会が開催されました。岸川直哉先生(長崎大薬)、坂口洋平先生(産総研)、田中 充先生(九大院農)、水野 初先生(静岡県大薬)に最新の質量分析法を中心にご講演を頂き、活発な議論がなされました。6 月 30 日(土)には、第 55 回化学関連支部合同九州大会が北九州国際会議場で開催されました。分析化学部門では、吉留俊史先生(鹿児島大工)に「マレイミド-メタノール混合系に観る準静的および不可逆的結晶膜生成過程と構造」と題して、依頼講演を行って頂きました。また、55 件のポスター発表がなされ、その中から井上舞美君(熊本大院先端)、志賀為仁君(九大院工)、都田菜摘君(九大院情報)、安松空良君(鹿児島大院理工)の 4 名が九州分析化学ポスター賞を受賞しました。7 月 27 日(金)、28 日(土)には、第 36 回九州分析化学若手の会・夏季セミナーが、北村裕介先生(熊本大院先端)のお世話で植木温泉 荒木観光ホテルを会場として開催されました。佐藤雄介先生(東北大)と加藤 大先生(産総研)による依頼講演のほか、新企画として企業セミナー 2 件が日本ウォーターズ(株)と横河電機(株)からなされました。また、九州分析化学奨励賞受賞者の N. H. Nghi 君(九大院生物)、石井千晴君(九大院薬)、佐伯健太郎君(熊本大院自然)による受賞講演と授賞式が行われました。恒例により、上記の九州分析化学ポスター賞受賞者による模範ポスター発表がなされたほか、一般ポスター発表の中から 6 名が九州分析化学若手賞を授与されました。また、講演に対するベスト質問賞を 3 名が受賞しました。

例年、九大伊都キャンパスを中心に実施しておりましたが、第 59 回分析化学講習会(実行委員長:戸田敬先生(熊本大院先端))は、新しい開催方法として実習コース毎の会場で、期日もできるだけ分散させ 8 月 7 日(火)-10 日(金)の 4 日間に開催しました。参加者は複数のコースを受講することができるようになりました。2019 年度は第 60 回の節目となりますが、この方法を踏襲して私が実行委員長として開催する予定です。そのほか、川上健次常任幹事((株)ジェイ・サイエンス西日本)を中心に 3 月に有機微量元素分析キャラバン、6 月と 11 月には、それぞれ、福岡大学と鹿児島大学で機器分析ワークショップ 2018 を開催して頂きました。

11 月 16 日(金)にはサンメッセ鳥栖で幹事会および九州分析化学講演会を開催しました。講演会では、黒田直敬先生(長崎大薬)による九州分析化学会賞受賞講演「生体成分・医薬品の分析を指向した精密分離・高感度検出法の開発」ならびに小山田孝嘉先生(富士フイルム(株))による講演「銀増幅イムノクロマト法



J-PARC MLF 中性子源 水銀ターゲット容器前にて

を用いた高感度な迅速診断技術の開発」がなされました。その後、産総研九州センターに移動し、参加者が2グループに分かれて、産総研で行われている最新の研究を見学しました。

本年度は、九州支部から日本分析化学会 学会賞を片山佳樹先生（九大院工）、戸田 敬先生の2名が受賞されたほか、高橋幸奈先生（九大）が奨励賞、佐藤しのぶ先生（九工大院工）が初めて設けられた女性 Analyst 賞を受賞されました。佐藤しのぶ先生は竹中繁織先生ほかとともに「分析化学」論文賞とのダブル受賞でした。このように、九州支部から多くの受賞者が誕生したことは、大変喜ばしいことです。

上記の行事を実施する中で、2019 年度支部執行部においては、森 健副支部長（九大院工）、松田直樹副支部長（産総研）、梅木辰也庶務幹事（佐賀大理工）、真瀬田幹生会計幹事（佐賀大総合分析セ）が、それぞれの役割を十分に務めて頂いたことに深く感謝いたします。

3月1日から、すでに浜瀬健司支部長（九大院薬）のもと2019 年度執行部の体制が始まっております。2018 年度からの引き継ぎ事項として、今後の支部活動に関する沢山の宿題をお渡ししています。浜瀬支部長、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、九州支部の発展と九州支部会員の皆さまのご多幸を祈念して、支部長退任のご挨拶とさせていただきます。1年間、ありがとうございました。

（佐賀大学 高椋利幸）



在りし日の熊本城を
一日も早く・・・



支部活動報告

❖ 第31回 九州分析化学若手の会 春の講演会 ❖

期日：2018年5月19日(土)
主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部
会場：福岡大学中央図書館 多目的ホール
世話人：福岡大学薬学部 巴山 忠
*詳細は支部ニュース38号をご覧ください。

❖ 第55回 化学関連支部合同九州大会 ❖

期日：2018年6月30日(土)
共催：日本分析化学会九州支部ほか7化学関連支部
会場：北九州国際会議場
*九州分析化学ポスター賞4件を選出しました。
大会の詳細は支部ニュース38号及びWEBサイト(<http://godo-kyushu.jp/godo/index.html>)をご覧ください。

❖ 第36回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー ❖

期日：2018年7月27日(金)～28日(土)
主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部
会場：荒木観光ホテル(熊本県植木市)
世話人：熊本大学大学院先端科学研究部 北村 裕介
*九州分析化学若手賞6件、ベスト質問賞3件を選出しました。詳細は支部ニュース38号をご覧ください。

❖ 第59回 分析化学講習会 ❖

期日：2018年8月7日(火)～10日(金)
主催：日本分析化学会九州支部
共催：福岡市、九州大学学術研究都市推進機構、日本化学会九州支部、電気化学会九州支部、日本薬学会九州支部、日本食品科学工学会西日本支部、日本農芸化学会西日本支部、日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部、日本臨床化学会九州支部、福岡県環境計量証明事業協会
会場：九州大学伊都キャンパス、九州大学馬出キャンパス、福岡大学理学部、福岡市産学連携交流セン

ター

実行委員長：九州工業大学大学院工学研究院 戸田 敬

*実習内容の詳細及び講習会の様子は支部ニュース38号をご覧ください。

❖ 機器分析ワークショップ ❖

● 機器分析ワークショップ2018 in 鹿児島
有機微量元素分析 JM-11 キャラバン

期日：2018年3月26日(月)～27日(火)

主催：(株)ジェイ・サイエンス西日本

会場：鹿児島大学 機器分析センター 6階

*詳細は支部ニュース38号をご覧ください。

● 機器分析ワークショップ2018 in 福岡

期日：2018年6月29日(金)

主催：日本分析化学会九州支部

協賛：(株)ジェイ・サイエンス西日本、サーモフィッシュャーサイエンティフィック(株)、メルク(株)

会場：福岡大学 中央図書館 1F 多目的ホール

*詳細は支部ニュース38号をご覧ください。

● 機器分析ワークショップ2018 in 鹿児島
part 2

期日：2018年11月29日(金)

主催：日本分析化学会九州支部

協賛：メルク(株)、ジーエルサイエンス(株)、(株)ジェイ・サイエンス・ラボ、(株)ジェイ・サイエンス西日本

会場：鹿児島大学理学部 1号館

講演：

・(株)ジェイ・サイエンス・西日本 古賀啓子、(株)ジェイ・サイエンス・ラボ 安達知宏 「粉体用大気圧プラズマ処理装置 ポリマー・セラミックからカーボンまで：表面親水化と疎水化」

・福岡大学薬学部 巴山忠 「フッ素化合物の特性を活かした新しい前処理法」

・メルク(株)ラボウォーター事業部 米村裕次 「水は基本！超純水・純水の基礎知識・水質の重要性と超純水の使い方のポイント」

・ジーエルサイエンス（株）カスタマーサポートセンター 小野荘登「勇気をもって！酸分解！ダメな装置との別れ方」

❖ 新技術インハウスセミナー ❖

期日：2018年7月20日（金）

主催：(株)ジェイ・サイエンス西日本/(株)ジェイ・サイエンス・ラボ

後援：日本分析化学会九州支部

会場：京セラ（株）国分工場分析センター 応接室

講演：(株)ジェイ・サイエンス・ラボ 森田正義

「灰分回収可能有機微量分析（CHN）分析装置 JM11 型の詳細並びに S 分析コーダーと周辺装置の紹介」、「ダイナミック閃光燃焼法による微量 CHNS の測定について」

❖ 2018 年度 九州支部講演会 ❖

期日：2018年11月16日（金）

主催：日本分析化学会九州支部

会場：サンメッセ鳥栖 4F ホール

講演：

1. 「生体成分・医薬品の分析を指向した精密分離・好感度検出法の開発」
長崎大学生命医科学域 教授 黒田直敬
(2018 年度 九州分析化学会賞受賞講演)
2. 「銀増幅イムノクロマト法を用いた高感度な迅速診断技術の開発」
富士フィルム（株）医薬品事業部 兼 医薬品・ヘルスケア研究所 小山田 孝嘉

講演会終了後、バス、タクシーにて産業技術総合研究所九州センターに移動し、見学会が開催されました（後述）。

❖ 2018 年度 九州支部見学会 ❖

2018年11月16日、サンメッセ鳥栖で開催された九州支部講演会の後、産業技術総合研究所九州センターに移動し見学会が開催されました。参加者は、講演会に参加していただいた各大学等の先生並びに学生諸氏で、およそ40名でした。

はじめにセミナー室にて、松田副支部長を含む、所員の方々から、ご研究についてご説明いただきました。その後、2グループに分かれて、応力発光材料や、化学プラントのモニタリング装置の開発、最新の蒸着装置を用いた材料開発について、見学が行われました。なお、産業技術総合研究所九州センターの紹介につきましては、支部ニュース38号をご覧ください。

見学会の後、タクシーで鳥栖駅前の居酒屋で、懇親会を行いました。

❖ 会議等 ❖

- 九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会

期日：2018年6月2日（土）

会場：佐賀大学理工学部9号館6F セミナー室
*2018年度 九州分析化学会賞受賞者1名、九州分析化学奨励賞受賞者3名については支部ニュース38号をご覧ください。

- 2018年度第1回常任幹事会

期日：2018年6月16日（土）

会場：佐賀大学理工学部9号館6F セミナー室

- 2018年度幹事会

期日：2018年11月16日（金）

会場：サンメッセ鳥栖 4F ホール

- 2018年度第2回常任幹事会

期日：2019年2月16日（土）

会場：佐賀大学理工学部9号館6F セミナー室

本部関連

❖ 第78回 分析化学討論会 ❖

期日：2019年5月18日（土）～19日（日）
会場：北九州国際会議場・AIM（福岡県北九州市）
実行委員長：竹中繁織（九州工業大学）
討論主題：

1. 不可能を可能にする新しい有機試薬
2. キラル分析による新しい医療，生体，食品研究の展開
3. スペクトロスコピー分析化学とその展開
4. ガスセンサの新展開
5. マイクロ・ナノで生命を測る
6. 食品品質を探る分析化学
7. 大気粒子の化学物質やその影響をはかる
8. 溶液反応化学からみる分析化学
9. 医療・環境のための超微量バイオ/化学センシング
10. 分析化学において“AI・ビッグデータ”の使い道はあるのか？

*詳細は後述

❖ 日本分析化学会 第68年会 ❖

期日：2019年9月11日（水）～13日（金）
会場：千葉大学西千葉キャンパス（千葉市）
実行委員長：藤波 真紀（千葉大学）
*本会のWEBサイトは4月下旬に公開予定です。

❖ Analytical Sciences 誌等への投稿のお願い ❖

国際的に認知された論文誌は、会員と学会にとって重要なだけでなく、我が国の優れた研究成果を発信して世界的なプレゼンスを高めます。Analytical Science 誌は、優れた学術論文・総説を掲載し、併せて国際的な認知度を向上させる取り組みを行っています。例えば、J-STAGEによるオープンアクセス化、メールマガジンなどがあります。毎月各号の

“Hot Article”選定と表彰、年間最多引用論文賞—“Most Cited Paper Award of Analytical Sciences”も好評を頂いています。投稿は完全に電子化され、スムーズかつ短期間のうちに成果を公開できます。良い研究論文はぜひ Anal. Sci.誌へご投稿ください。他のジャーナル等に投稿される場合も Anal. Sci.誌の論文を引用頂けましたら幸いです。Anal. Sci.誌の国際プレゼンス向上に、皆様方のご協力をお願いいたします。また、「分析化学」などの他誌も可愛がっていただき、機会があればご投稿ください。

❖ 2019年度 支部からの役員 ❖

理事：戸田 敬（熊本大学先端）
代議員：富永昌人（佐賀大院工）、片山佳樹（九大院工）、井原敏博（熊本大院先端科学）、佐藤 博（長崎国際大薬）、松井利郎（九大院農）、松森信明（九大院理）、光井康浩（京都電子工業）
編集委員：

「ぶんせき」井上高教（大分大工）
「分析化学」佐藤しのぶ（九州工業大工）
「Analytical Sciences」巴山忠（福岡大薬）

❖ 入会を歓迎します ❖

あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対しては、要望すれば機関紙の見本を学会本部からもらえるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力下さい。

今後の支部活動計画

❖ 支部活動・事業予定 ❖

● 第32回 九州分析化学若手の会 春の講演会

期日：2018年6月1日（土）13：30～

会場：九州大学医系キャンパス2階 ITルーム

講演：

「多フッ素化合物の特性を利用した新しい前処理法」

（福岡大薬）巴山 忠

「ミクロスケール ×（電気泳動 + バイオアッセイ）＝？」

（大阪府大院工）末吉 健志

「分析化学の実臨床への展開 ～診断薬と診療機器の開発に向けて～」

（九大医）村田 正治

「材料を用いる細胞機能の分析と制御」

（物質・材料研究機構）中西 淳

世話人：森 健（九大工）

● 第56回 化学関連支部合同九州大会

期日：2019年7月13日（土）

会場：北九州国際会議場（北九州市）

発表申込期間：3月1日（木）～4月12日（金）

予稿原稿締切：5月17日（金）

発表形式：特別講演（1件）、依頼講演（8件）、一般講演（ポスター発表のみ）

支部推薦依頼講演：

「ルテニウム錯体化学発光法によるアミン類の分析」

吉田 秀幸（福岡大学）

代表世話人：古田 弘幸（九大院）

*詳細は下記WEBサイトをご覧ください。

<http://godo-kyushu.xsrv.jp/godo/index.html>

● 第37回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー

期日：2018年7月26日（金）～27日（土）

会場：選定中

内容

- ・九州分析化学若手の会総会
- ・九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演
- ・依頼講演（2件）
- ・模範ポスター発表（九州分析化学ポスター賞）
- ・一般ポスター発表
- ・懇親会

参加費：未定

世話人：田中 充（九大院農）

❖ 第79回 分析化学討論会 ❖

1月16日の×切を1月23日まで延長して394件の申し込みをいただきました。実行委員一同大変感謝しております。すでにプログラム編集と会場の割り振りも終わりました。今回は、10の討論主題と新たに高校生のポスター発表、体験実験、公開シンポジウムを設けました。以下にぶんせき3月号のお知らせから抜粋してご案内します。本大会が大盛況でありますように、皆様にご支援とご協力をお願い致します。

期日：2019年5月18日（土）～19日（日）

日程：5月18日：主題講演（口頭）、一般講演（口頭、ポスター）、若手講演（ポスター）、テクノレビュー講演（口頭、ポスター）、産業界R&D紹介講演（ポスター）、依頼講演、懇親会

5月19日：主題講演（口頭）、一般講演（口頭、ポスター）、テクノレビュー講演（口頭、ポスター）、高校生ポスター発表、依頼講演

会場：北九州国際会議場・AIM [北九州市小倉北区浅野3-9-10]

交通：(1) JR小倉駅（新幹線口）から徒歩5分、
(2) 北九州空港からJR小倉駅行き高速バスで35分、
(3) 福岡空港から地下鉄・新幹線でJR小倉駅まで約30分。

※(2)、(3)は乗り換え時間を含みません。

実行委員長：竹中繁織（九州工業大学応用化学科）

● 懇親会

5月18日（土）18時～20時

会場：リーガロイヤルホテル小倉

[〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-2, JR小倉駅 新幹線口より空中回廊で直結徒歩3分]

<https://www.rihga.co.jp/kokura>

●討論主題：

1. 不可能を可能にする新しい有機試薬
オーガナイザー：片山佳樹（九大院工）
2. キラル分析による新しい医療，生体，食品研究の展開
オーガナイザー：浜瀬健司（九大院薬）
3. スペクトロスコピー分析化学とその展開
オーガナイザー：藪下彰啓（九大院総理工）
4. ガスセンサの新展開
オーガナイザー：清水陽一（九工大院工）
5. マイクロ・ナノで生命を測る
オーガナイザー：加地範匡（九大院工）
6. 食品品質を探る分析化学
オーガナイザー：松井利郎（九大院農）
7. 大気粒子の化学物質やその影響をはかる
オーガナイザー：戸田 敬（熊本大院先端）
8. 溶液反応化学からみる分析化学
オーガナイザー：高椋利幸（佐賀大院工）
9. 医療・環境のための超微量バイオ/化学センシング
オーガナイザー：三林浩二（東京医科歯科大）
10. 分析化学において“AI・ビッグデータ”の使い道はあるのか？
オーガナイザー：藤井 聡（九工大院情工）

*詳細は以下のWEBサイトをご覧ください。

<http://conference.wdc-jp.com/jsac/touron/79/index.html>

●参加予約申し込み方法

以下よりWEB参加登録の手続きを行ってください。
また、詳細はぶんせき2月号を参照ください。

<http://conference.wdc-jp.com/jsac/touron/79/index.html>

●参加登録料、懇親会費

参加登録料

予約：会員9,000円，学生会員4,000円，会員外15,000円，会員外学生7,000円 [当日：会員12,000円，学生会員5,000円，会員外18,000円，会員外学生8,000円]

※高校生、引率の教員及び保護者は無料です。

懇親会費

予約：一般9,000円 [当日：11,000円]，学生4,000円 [当日：5,000円]

付設展示会出展と広告のお願い

主催：第79回分析化学討論会実行委員会
分析・計測機器関連のメーカー・販売会社，分析技術提供会社との相互交流・情報交換の場として，機器展示会及びカタログ展示会を開催します。また，期間中の昼休みを利用してランチョンセミナーを開催します。展示会及びランチョンセミナーに参加ご協力のほどお願い申し上げます。

—機器・カタログ出展募集—

展示日時：5月18・19日（ただし、19日は14時まで）

展示料：機器展示ブース（間口180cmx奥行60cm、電源は別途ご相談ください）80,000円、カタログ展示（A4サイズ）1点20,000円、2点30,000円（税別）

申込締切：2019年4月3日（水）

※お申込みは、スペースが制限されていますので、先着順に締切ります

—ランチョンセミナー募集—

展示日時：5月18・19日12時10分～13時

会場：北九州国際会議場（討論会会場内）

開催費用：150,000円（税別）

※セミナー運営に関する費用（昼食用弁当など）は別途。

締切日：3月13日（水）

—広告掲載募集—

募集媒体：第79回分析化学討論会 講演プログラム集（5月18日発行予定）

発行部数：1,000部（討論会当日配布）

サイズ：A4判（白黒）

掲載料金：表表紙の裏 100,000 円、裏表紙の裏 90,000 円、裏表紙 80,000 円、後付 1P 70,000 円、後付 1/2P 45,000 円、挟込 10,000 円（税別）

申込締切：4月3日（水）

原稿締切：4月24日（水）

問合せ先・申込先

〒104-0061 東京都中央区銀座七丁目12-4(友野本社ル)

(株)明報社(担当:後藤)

TEL (03) 3546-1337、FAX (03) 3546-6306、E-mail info@meihosha.co.jp

公開シンポジウム 『生活に密着する分析化学』

(高校生、一般対象)

趣旨：一般の方々や高校生に分析化学の面白さを知ってもらうために公開講座を本分析化学討論会で開催することにしました。同時に高校生によるポスター発表も設けました。このシンポジウムによって分析化学に興味をもってもらうとともに将来この分野で活躍できる人材が育つことを期待しています。

日時：2019年5月19日（日）14時～16時

場所：北九州国際会議場

依頼講演：

1.匂いによるがん診断

(北九州市大国際環境工学) 李 丞祐

2.人工化学物質による環境汚染の未然防止に役立つ分析化学

(北九州市大環境技研) 門上希和夫

3.薬物犯罪を立証する科学鑑定

(厚労省近畿厚生局麻薬取締部) 津村ゆかり

オーガナイザ：荒木孝司（九工大工）

[分析化学体験実験] ～水の安全を調べてみよう～

(高校生、一般対象)

趣旨：一般の方々や高校生に分析化学の面白さを知ってもらうために体験実験を設けました。残留塩素を SBT 法によって調べます。

日時：2019年5月19日（日）11時30分～12

時30分

場所：北九州国際会議場

高校生ポスター講演

趣旨：本討論会会期中に高校生にポスターで発表をしていただき、分析化学に関連する諸分野の研究者や学生との交流を通して、化学全般への関心をもつていただくのが本企画のねらいです。分析化学に関わる内容であれば、どのような分野や題材の発表でも結構です。なお、高校生ポスター講演での発表は、本討論会参加費は不要（無料）です。併せて、現在活躍中の研究者や技術者に現在の研究や分析化学の面白さ、奥深さなどを話してもらう「生活に密着する分析化学」シンポジウムを開催します。高校生の皆さんに研究者を身近に感じてもらうシンポジウムです。

日時：2019年5月19日（日）10:00～11:00

会場：北九州国際会議場（討論会ポスター会場）

参加費：無料。発表者（人数に制限なし）および保護者、引率者は大会参加費が免除されます。

発表資格：原則として、高等学校または高等学校に相当する教育機関に在籍する生徒であること。国籍は問いません。

発表内容：分析化学に関わる内容であれば、どのような分野や題材の発表でも受け付けます。

審査員：ポスター1件につき複数名の審査員が配置され、質問やコメント、アドバイスをします。

ポスター賞：審査委員会が内容を評価し、発表されたポスターの中から優れたものを選出し、高校生ポスター発表優秀賞として表彰します。

❖ 2019年度 支部執行部・役員 ❖

● 執行部

支部長： 浜瀬健司（九大院薬）

次期支部長：黒田直敬（長崎大院医歯薬）

副支部長： 加地範匡（九大院工）

長野正信（坂本醸造）

監査： 高椋利幸（佐賀大理工）

松田直樹（産総研九州七）

庶務幹事： 巴山 忠（福岡大薬）

会計幹事： 中園 学（九大院薬）

● 常任幹事（13名）

（九工大・福教大） 竹中繁織（九工大院工）
（九大院工） 高橋幸奈（九大I²CNER）
（九大院理） 恩田 健（九大院理）
（九大院薬・第一薬大） 増田寿伸（第一薬大）
（九大院農・九産大・福女大）
石川洋哉（福女大）

（九大筑紫・近大産理工）

（福岡大）

（佐賀）

（長崎・熊本）

（長崎・熊本）

（大分・宮崎）

（鹿児島・沖縄）

（企業・官公庁）

稲田 幹（九大中央分析セ）

栗崎 敏（福大理）

宗 申明（佐賀大院農）

岸川直哉（長崎大院医歯薬）

西田正志（崇城大工）

井上高教（大分大理工）

吉留俊史（鹿児島大院理）

川上健次（(株)ジェイ・サイエンス西日本）

事務局より

❖ 各賞推薦依頼および規定 ❖

▼ 九州分析化学会賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として九州在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会の正会員にして、分析化学に関する研究、教育及び九州支部の運営において功績が顕著であり、九州の分析化学の発展に多大なる貢献をした者で、受賞の年の1月1日現在、原則として20年間以上引き続き本会会員であり、満65歳以下の者。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の業績目録、被推薦者本人による業績内容の説明文（図表等を含めA4紙4枚程度、教育・支部運営についてA4紙1枚程度、英文も可）の正本1部、写し9部（計10部）を4月末日までに支部長に送付。

▼ 九州分析化学奨励賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として、九州に在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会会員で、受賞年度の4月1日において満30歳未満の者。ただし、修士課程（博士前期課程）及び博士課程（博士後期課程）に在籍する場合には満35歳未満の者。非会員は受賞時まで日本分析化学会の入会申請をしなければならない。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の論文目録、講演題目のリスト及び論文等の別刷りの一部（複数可）、さらに被推薦者本人による研究内容の説明文（A4紙2枚、英文可）及び図表等（5枚程度）の正本1部、写し8部（計9部）を指定期日（受付期間：4月1日～4月30日）までに支部長に送付。

*募集要項の詳細は支部のホームページをご覧ください。申請に必要な書類ファイルもダウンロードできます。

❖ 編集後記 ❖

温かさが増すとともに、スギ花粉も増す、うれしくて厄介な季節となりました。この39号の支部ニュースの発行を持ちまして、私の副支部長の任も終わりとなります。

高椋支部長を筆頭に、梅木庶務幹事、真瀬田会計幹事の緻密な運営に助けていただき、一年を終えることができました。松田副支部長にも支部見学会などで大変お世話になりました。特に支部見学会の後の懇親会会場の選択は、素晴らしかったです。私は名ばかりの副支部長であり、大して仕事もせず、まことに申し訳なく思っております。

2019年度の大学側副支部長は九州大学大学院工学研究院の加地範匡先生です。先生は2年前に名古屋大学工学研究院の馬場研究室より、ご着任されました。これからの九州支部はもとより、日本分析化学会を牽引していただく方と思います。さらに、これまで支部活動に積極的にかかわって来られた浜瀬支部長をはじめとして、巴山庶務幹事、中園会計幹事と、来年度の支部役員もまた強力です。

最後になりますが、会員の皆様には一年間のご支援に感謝いたしますと共に、次年度も日本分析化学会九州支部への一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

（副支部長 森 健）



2018 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町 1
佐賀大学工学部 機能物質化学科

支部長	高椋 利幸 (佐賀大学工学部) takamut@cc.saga-u.ac.jp / 0952-28-8554
副支部長	森 健 (九州大学大学院工学研究院) mori.takeshi.880@m.kyushu-u.ac.jp / 092-802-2849
副支部長	松田 直樹 (産業技術総合研究所 九州センター) naoki.matsuda@aist.go.jp / 0942-81-3623
庶務幹事	梅木 辰也 (佐賀大学工学部) umecky@cc.saga-u.ac.jp / 0952-28-8555
会計幹事	真瀬田 幹生 (佐賀大学総合分析実験センター) St8648@cc.saga-u.ac.jp / 0952-28-8896